

<公開講座>

ベーシックインカムと これからの暮らし

～生存、居場所、参加を求める人々に、どのような支えが必要か～

変化する時代に合った新しい働き方・生き方が追求されています。また、それらを可能にする新しい生活保障のしくみが議論されています。ベーシックインカムは、旧来の社会保障に変わる斬新なアイデアによる政策構想として、ホリエモンから人工知能学者に至るまで多様な人々から注目されています。

ベーシックインカムの可能性について考えながら、これからの働き方や生き方の展望について参加者の皆さんとともに（サロンのような雰囲気）考えていきたいと思えます。

第1部 話題提供

テーマ 「生存と居場所を保障するしくみ、ベーシックインカム論の現在」

講師：金子 充（立正大学社会福祉学部准教授）

<講師プロフィール>

明治学院大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得満期退学

立正大学社会学部専任講師を経て、現在准教授

【主な著書・論文】

『問いからはじめる社会福祉学』（共著）有斐閣、2016年

『社会政策の視点』（共著）生活書院、2011年

『反貧困のソーシャルワーク実践：NPO「ほっとポット」の挑戦』（共著）

明石書店、2010年

第2部 ディスカッション

司会：六波羅 詩朗（目白大学生涯福祉研究科・人間福祉学科）

コーディネーター：平野 寛弥（目白大学人間学部人間福祉学科）

日時：2017年2月21日（火） 13:30～16:00 （13:00開場）

場所：目白大学新宿キャンパス 10号館 5階 10505教室

（西武新宿線・地下鉄大江戸線 中井駅より徒歩10分）

入場料：無料

【お問い合わせ先】

目白大学大学院生涯福祉研究科

（担当：六波羅）：Fax (03) 5996-3060

中井駅から目白大学新宿キャンパスまでのアクセスマップ



新宿キャンパスのキャンパスマップ

